

罹災証明書

市町村長は、当該市町村の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害の被災者から申請があつたときは、遅滞なく、住家の被害その他当該市町村長が定める種類の被害の状況を調査し、当該災害による被害の程度を証明する書面（次項において「罹災証明書」という。）を交付しなければならない。（災害対策基本法第90条の2第1項）

罹災証明書は、各種被災者支援策※の適用の判断材料として幅広く活用されている。

※各種被災者支援策 給 付 : 被災者生活再建支援金、義援金 等
融 資 : (独)住宅金融支援機構融資、災害援護資金 等
減免・猶予 : 税、保険料、公共料金 等
現物給付 : 災害救助法に基づく応急仮設住宅の供与、住宅の応急修理制度 等

<被災から支援措置の活用までの流れ>

被災者から市町村へ申請

被害状況の調査（市町村）



被害の程度	全壊	大規模半壊	中規模半壊	半壊	準半壊	準半壊に至らない (一部損壊)
損害割合	50%以上	40%以上 50%未満	30%以上 40%未満	20%以上 30%未満	10%以上 20%未満	10%未満

罹災証明書の交付（市町村）

※ 罹災証明書の統一様式

(略番号)

罹 災 証 明 書

世帯主住所	
世帯主氏名	
(追加記載事項欄1)	
罹災原因	年 月 日の による
被災住家の所在地	
住家の被害の程度	口全壊 口大規模半壊 口中規模半壊 口半壊 口準半壊 口準半壊に達しない (一部損壊)
(追加記載事項欄2)	
<small>※住家とは、被災に発生(被害)した建物の本構として目的的に使用していることという。このために使用している部分のみ。 (国次官指定再建促進地区や災害救助法による応急仮設住宅等の対象となる)</small>	
(追加記載事項欄3)	
上記のとおり、相違ないことを証明します。	
年 月 日	
〇〇市町村長	

各種被災者支援策の活用